



関東徳高会 No.8

敬愛
向学
共生

発行所 〒142-0062 品川区小山4-5-2 荏原不動産 TEL 03-3781-0446 発行人：関東徳高会会長 勝 光重

【ふるさと関連たより】(写真：南海日々・奄美新聞他)
 ○「徳之島コーヒー」ブランド成るか? H29.6.26
 日本の水と和菓子に合う国産のコーヒーブランドを模索していた味の素AGF(株)と総合商社丸紅(株)は伊仙町、徳之島コーヒー生産者会の官民4者による「徳之島コーヒー生産支援プロジェクト」の調印式を行った。「日本のコーヒーといえば『徳之島コーヒー』と言われるようスタートした。ご期待ください。



○国営徳之島灌漑用水事業が完工 H29.10.11
 秋利神川上流の三京地区で1997年から着手していた国営かんがい事業が完工した。九州農政局主催の祝賀が天城町防災センターで開催された。着工から21年。総事業費590億円。今後はスプリンクラー等の付帯工事に移行する。最終完工は平成36年頃。



○奄美トレイルシンボルマーク決定 H29.10.26
 世界自然遺産登録を目前に、鹿児島県は奄美群島の全市町村をつなぐ自然歩道「自然遺産 奄美トレイル」のシンボルマークを発表。奄美の大地に生える大樹の幹を中央に道として見立ててクロウサギやアマミセイシカなど希少な動植物をデザイン化した。

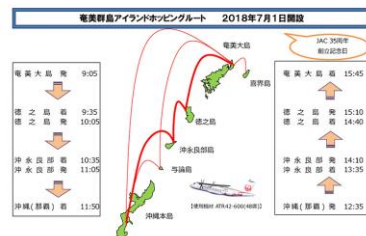


遺産登録の可否は、本年6月24日～7月4日に中東のバーレーンで開かれる世界遺産委員会で決まる予定。

○遠隔合同授業の研究成果を公開 H30.2.2
 テレビ会議システムを利用した文部科学省のICT(情報通信技術)実証事業が公開され、約100人の教育関係者が島内外から花徳小学校を訪れて理解を深めた。遠隔合同授業を2015年から3年間実践している母間、花徳、山の3小学校間の研究成果の発表や人口減少地域における有用性が報告された。



○アイランドホッピングルートが誕生予定
 日本エアコミュニタは沖縄ー沖永良部ー徳之島路線を7月から開設すると発表した。プロペラ機で48人乗り運賃は現在未定。



【会務報告】 H29年4月1日～H30年3月末迄
 H29.04.07：入学式祝電
 H29.04.15：関東徳高会役員会 コスプレ(株)本社
 H29.05.27：総会案内送付 事務局
 H29.06.16：関東徳高会役員会 五反田「塩梅」
 H29.06.18：関東伊仙町会総会 勝会長出席
 H29.06.24：平成29年 総会・懇親会「きゅりあん」
 H29.07.14：関東徳高会役員会 五反田「塩梅」
 H29.07.23：関東徳之島町会総会 勝会長出席
 H29.08.20：関東徳州会総会 勝会長出席
 H29.09.23：関東天城町会総会 勝会長出席
 H29.11.14：叶福次郎氏受章祝賀 五反田「塩梅」
 H29.12.16：関東徳高会役員会 神田駅前 BC5F
 H30.03.01：卒業式祝電
 H30.03.18：関東徳高会役員会 恵比寿「大吉」

【会計報告】
 報告期間：平成28年4月1日～平成29年3月31日

収入 (円)		支出 (円)	
前期繰越金	479,793	総会・懇親費	351,052
総会会費	227,000	役員会議費	54,150
総会寄付金	114,000	事務・通信費	236,750
来賓祝儀	110,000	郷友会等祝儀	100,000
運営協力金	242,410	交通費	1,610
本部支援金	50,000	雑費(祝電等)	36,521
役員会余剰金	6,705	(小計)	780,083
利息他 雑収	2	次期繰越金	449,827
収入合計	1,229,910	支出合計	1,229,910

上記の通り仮報告いたします。
 正式には会計監査を経て総会にてご報告いたします。
 関東徳高会会長 勝 光重 印 省略

【あとがき】
 会報発行の第一ステージの任は終えたと、前号に記しましたが、継続発行の要請で第8号を発行する事となりましたのでよろしく願いいたします。
 会員各位の母校や同窓会への熱い思い、また郷土愛は運営協力金の総額を拝見するたびに心が動かされます。前掲の創立30周年記念募金に5000万円の目標額を超えるご賛同があり、同窓会館の実現には至らなかったものの、後の教育振興の基金として成果を得た記事は、当時の金銭価値を知る世代として深く敬意を表します。
 お仕事はじめ諸般の事情で、同窓会総会には参加できませんが通信費として届けますと言うお便りは、運営に対する心のこもったエールです。お陰様で会報も第6号よりカラー印刷化ができました事は大変嬉しく思います。
 同好会や同期同窓会の写真と120文字程の会員便りの投稿をお願いしてあとがきとします。(文責：喜多)

ご挨拶

関東徳高会会長 勝 光重
 第19期生



会員の皆様、平素は関東徳高会にご理解とご支援を賜り厚くお礼申し上げます。私は今回の総会をもって会長の任を辞することになります。

この2年間、ご支援ご協力を賜りました皆様に心よりお礼申し上げます。

私は、先輩方が営々と築いてこられた徳高会の伝統を受け継ぎ「会員の親睦推進」「母校の発展に寄与する」をモットーに努めて参りました。これからは微力ながら1会員として協力していく所存です。

当会は新卒者の参加減少、高齢化による参加者減少という構造的な課題を抱えていますが、年齢や性別を超えた温かい交流の場、安どの場、切磋琢磨の場として皆さんに喜んでもらえる会にすべく試行錯誤を続けていかざるを得ません。

当会には、蔵越会(旧徳高会)が保管している同窓会館敷地購入金(約2000万円)の取り扱い、新設校に変化したことにより、新設校を中心とした新同窓会「結心会」が発足し、既存同窓会・新設同窓会・学校という構図の中で、今後どのように調和していくかという2つの課題を抱えています。

私は、昭和44年に徳高を卒業し東京に出て約50年、今の自分があるのは高校生活(寮)が原点で今でも懐かしいです。同窓会で皆さんと和気あいあい交流できますことはとても幸せなことだと感じています。

最後になりますが、会員の皆様のますますのご健康とご多幸を祈念いたしますとともに、徳高会へのご理解とご支援、ご協力を切にお願いしてご挨拶とさせていただきます。

2年間本当にありがとうございました。

【編集者メモ】

- ・昭和44年 徳高 第19回卒業
- ・伊仙町 小島出身 前 関東伊仙町会会長

ご挨拶

関東徳高会第8代 会長 西原 睦夫
 第7期生



会員の皆様、お元気ですか？私が会長を辞して早や数十年が過ぎ去りました。関東徳高会での楽しい思い出を少し語らせてもらいます。

私が実社会に出てサラリーマンとなり、最初に配属されたのが営業部でした。その上司に「3ゴ」を身に付けていると営業活動にすぐ役立つぞと言われ、それに熱中したことがあります。ちなみに「3ゴ」「碁・ゴルフ・小唄」の3つです。

関東徳高会に「珊瑚会」と言うゴルフ同好会があり、私は早速それに入り、年に数回コースに出て、シーズンオフには場所を畳の上に移しての懇親会と、あの蔵越ヶ丘で青春の真っ只中を過ごした、上は1期卒から若い層まで30数名が一丸となり、楽しいお付き合いをしてきました。皆さん多士済々で実社会のあらゆるところで活躍しておられ、私はその恩恵にどれほど浴したことか。

一例を挙げますと中央競馬会の馬主さんがいらして、私も共同で馬主になり、競馬を楽しんだり、負けて悲しんだり…。フリーでは絶対にプレイさせてもらえない名門ゴルフクラブの会員で、あの避暑地として有名な軽井沢に別荘を持ち、手広く事業を展開している事業家に親しくしてもらったりと…楽しい思い出は尽きません。

徳高会の皆さん、色々とお持ちでしょうから、是非、同好のサークルを作り、蔵越ヶ丘を思い出しつつ楽しい人生を歩んでください。これが縁で、サークルを離れても実社会のあらゆるところで喜びあえる事ができますよ。

私は今年傘寿を迎えます。今は碁に専念し、ボケ防止に街の碁会場通いをしています。

最後に、関東徳高会のますますの賑わいを願ってやみません。

【編集者メモ】

- ・昭和32年 徳高 第7回卒業
- ・伊仙町 面縄出身

○平成 29 年 総会盛大に開催される！ H29.6.24

平成 29 年度の関東徳高会総会ならびに懇親会は 6 月 24 日(土曜日)12 時から大井町駅前の品川区立総合区民会館「きゅりあん」にて 62 名の参加のもと開催された。

【第一部】は関東徳高会恒例の講演会で帝京大学医学部教授の梶原祥子さん(27 回卒・S52 年卒)が「島に生まれて」と題し、島で 500 余名の出産に接し、大学で教える「リプロダクティブ・ヘルス」科目に大きな力となった。島は地域のサポートや子育てのモデルになる母親がいるなどから出生率が高い事が紹介され、好評を博しました。

【第二部】総会は松山哲則幹事長が司会進行し、宮原たつ子副会長が開会。郷土謡・校歌斉唱と続き、勝光重会長挨拶の後、議事へ移行し会務・会計・監査報告がされた。来賓祝辞に白石秀逸校長が登壇し徳高 10 周年祝賀にあたり、多額のご芳志・役員への参加にお礼が述べられた。城戸あい子副会長が二部の総会を閉めた。



梶原祥子教授の講演に聞き入る会場

【第三部】懇親会の司会は福正美、松永光子さんが担当。林正憲相談役による乾杯の音頭で懇親会がスタート。平山徳廣徳州会々長、横田捷宏徳之島「夢」振興会議事長はじめご来賓からご挨拶を頂戴し、余興に移る。余興では嶺山朋生さんの空手演技でオープン。マジックやエイサー隊の踊りで絶好調に！各期の紹介や飛び入り芸、カラオケと続き、ワイド節・六調でフィナーレ。喜多正吉相談役が「マタオオレラ」と三部を閉めた。



開会の宮原さん 空手演技の嶺山さん 蔵越会福田哲也幹事長



世代ごと壇上に上がり代表が挨拶をして同窓会の絆を深めた

○同窓会館敷地購入金の現状と扱い H29.12.16

蔵越会(旧徳高同窓会の本部名称)には、敷地購入金として蓄積された 2000 万円の財があり、その取扱いが課題としてあります。この購入金の現状と今後の扱いについて 12 月 16 日関東徳高会役員会で協議されました。

資金の誕生などを知らない方が多い時代となり、まずその経緯を振り返り理解することから審議しました。

色々な事で敷地購入が実らず、当座の有効利用として昭和 59 年に教育振興基金運用委員会を設立し、委員会の運用基本金として貸出した。定期預金にして利息(当時年利 4%程)により、部活動や遠征費等の支援に充てた。

近年の低金利(0.01%)状況では支援も儘ならず扱いについて各地区の同窓会会計への分配案等が浮上している。

結論を出すには当時、募金活動に奔走された方や各地区の募金高に差もあり、単なる均等分割の賛否や募金の目的変更は困難と判断。関東徳高会は各地区に分配して消費するよりも、多額の資金でもあり母校や全国同窓会の今後プールすることが適切とし、事案が生じた時に資金の目的変更と転用を諮る継続協議とした。

【同窓会館敷地購入資金とは】創立 30 周年事業として 5,000 万円の募金を計画。この際 1,100 万円を敷地購入資金に計上。5,220 万円の実績を得て 1,371 万円を敷地購入資金とした。平成 7 年の 50 周年募金事業を通じて 2,000 万円に増資。平成 22 年空調設備転用案があった。

○第 16 回卒生徳高会総会に集う H29.6.24

昭和 41 年卒同期生は平成 29 年古稀を迎えた。徳高会総会にあたり旧交を温め互いの健勝を讃えようと集った。恩師の飯田富枝先生を囲んで大はしゃぎでした。

・皆さんも記念の集いに徳高会総会を利用しませんか！



○役員有志・叶さんの叙勲祝賀 H29.11.14

叶福次郎(元天城町議会議長・昭和 41 年卒)さんが旭日双光章を拝受のため上京した折に、役員と同級生有志は五反田「塩梅」で受章祝賀を開いた。

1986 年天城町議に初当選、以来 6 期 24 年連続当選した。南大島農業共済組合長も 3 期の功績。天城町兼久出身。



【母校・蔵越会本部便り】

○平成 29 年度卒業式・平成 30 年度入学式挙行

平成 30 年 3 月 1 日、第 10 回卒業式が行われた。普通科 79 名、総合学科 24 名。進路は大学 36、短大 10、専門 48 就職 8、他 1 名。

第 13 回入学式は 4 月 9 日に挙行。募集人員は 4 クラス 160 名のところ普通科 2 学級 58 名、総合学科 1 学級 28 名が入学。構成は男 42 女 44。



○徳高・地域創生推進協力校の委嘱を受諾

徳之島町は徳高を「地域創生推進協力校」として指定し、去る 7 月 20 日に 3 年間の委嘱状を交付した。

地域起業家的次世代の育成に寄与するのを期待して地方創生推進交付金活用事業に位置づけ委嘱。「自分の夢と島をつなぎ、島のみらいを創るチャレンジ」をコンセプトに活動する。



○アート作品ワークショップを開催 H29.8.25

複数の異なる画材や技法を使い作品を作り上げる「ミクストメディア」に生徒や教職員 15 人が参加。講師の指導を受けて徳之島の風景や人、物を撮影した画像など複数の画材を切り貼りする手法を体験して、アートの表現技法を学んだ。



○空手道部快挙・連続 30 回出場決定 H29.11.26

空手道部は、11 月 25・26 日に大分県で開催された、九州大会に出場。女子の部で全国大会の出場権を得た。

全国の舞台に 30 年連続出場という快挙。第 37 回全国大会は本年 3 月 27・28 日、香川県高松市の総合体育館で開催された。



○総合学科・6 次産業化へ発表 H29.1.26

総合学科は徳之島町文化会館を借りて学習発表会を行った。舞台発表や作品展示・島バナナ等の地場産品の商品開発で 6 次産業化を目指す等、日頃の学習の成果を発表し、お互いの学びを深め合った。



【会員便り】同期会などの会員便り投稿お待ちしております

○徳田虎雄顕彰記念館建立起工式 H29.5.26

徳田虎雄顕彰記念財団は、誰でもが最高水準の医療を受けられることを目指して「生命だけは平等だ」という理念を発案・提唱・実践してきた医療法人徳洲会前理事長の功績を顕彰し、世に資するために記念館を設立する。

記念館の完成祝賀は平成 30 年 5 月 28 日行われる。徳田虎雄氏は徳高～大阪今宮高～阪大医学部卒業後に 1973 年徳田病院を開設。医療法人徳洲会は 1975 年設立され創立 45 周年を迎えた。国内外 73 病院と 305 の医療・介護施設を擁する医療グループに成長している。



○各中学校で創立記念祝賀

創立記念式典があった中学校を以下に紹介します。
・犬田布中学校・創立 70 周年祝賀 H29.11.11
在校生徒数 40 人。卒業生総数 5,370 人
・面縄中学校・創立 70 周年祝賀 H29.12.10
在校生徒数 64 人。卒業生総数 4,989 人
・北中学校・創立 70 周年祝賀 H30.1.13
在校生徒数 100 人。卒業生総数 5,664 人



○東天城中第 5 回卒全国同窓会 H29.10.25～27

「ユックリグア オオティ カタラデ 70 ヌキマイタリツチュ」を合言葉に、古稀を迎え、お互いを祝福しようと全国から 45 名が集い、都内および日光紅葉狩りと楽しい 3 日間を過ごした。最終日は東照宮を訪れ特別案内及び特別祈祷と直会を戴き、参加者と同級生の健康を祈った。



○関西徳高会・緑友会合同同窓会 H29.7.2

関西徳高会と旧徳農高同窓会の関西緑友会は平成 29 年総会において合併し関西徳緑会として結成された。